Trias™：卓越した性能の新世代3本ロールミル。

ビューラーの3本ロールミルTrias™は、優れた再現性、高生産性、高分散性を実現した、新世代の湿式用ロールミルです。高い冷却機能で生産性を飛躍的に向上させ、材料の高品質化に貢献します。電子材料用途をはじめとするハイテク製品から、ナノテク材料を含む化粧品、潤滑油など広範囲な材料への応用が可能です。

ビューラーは国際粉体工業展 東京 2014に出展いたします。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。
会場：東京ビッグサイト東ホール　会期：2014年11月26日（水）～28日（金）小間番号：東1ホール B-04

ビューラー株式会社　〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-22-11 Tel.045-477-3000 Fax.045-477-3030
Email: buhler.japan@buhlergroup.com　www.buhlergroup.com/die-casting

- PLC制御により完全な再現性を実現
- ラボ用途から実生産用途（300mm～800mm）まで対応
- 多様な材料のペースト化、脆弱な材料や分散強度の繊細な調整が必要な材料に適応
- オイルフリー、コンタミフリーで、クリーンルームにも対応

Innovations for a better world.　BÜHLER

豊富な実績とノウハウ

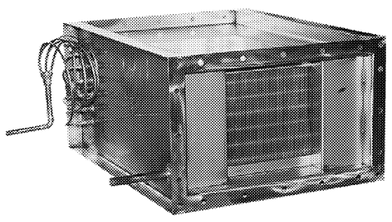
国内および、世界各国の各種産業分野で豊富な納入実績を持ちます。

KATSUKAWA

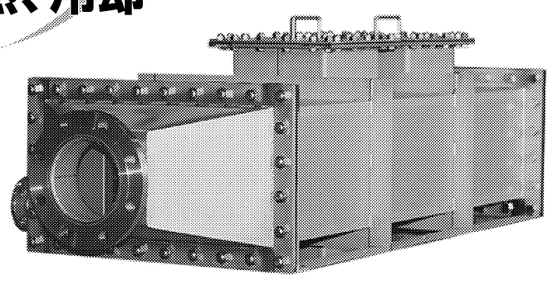
生産設備の頼れるパートナー　*http://www.katsukawa.co.jp*

製造ラインに最適な設計の熱交換器をご提供します。

弊社は産業用熱交換器の設計・製作を行っており、工業製品の加熱、冷却を行う乾燥機、冷却/除湿機の中に使用されるヒーター＆クーラーにおいては豊富な設計経験/納入実績がございます。
粉体における熱交換器ユニットでは食品・医薬品・化学製品の製造ラインに最適な選定、設計をし、低コストでのご提供をさせて頂きます。
また、機器配管設計/製作を含む熱交換器の撤去/設置工事なども行っており、より信頼のおけるプラントを構築して頂けるお手伝いもいたしますのでお気軽にご相談下さい。



工業製品の加工時における
加熱、冷却



[直膨用プレートフィンチューブ型]
■材質：ALL SUS304

[乾燥用エロフィンチューブ式加熱器]
■材質：ALL SUS316L

営業品目
- 産業空調用熱交換器
  乾燥/加熱装置用・除湿/冷却装置用・溶剤/排熱回収用・各種産業生産設備用
- 工場、施設暖房用熱交換器　●シェル&チューブ型熱交換器
- 船舶/特殊車両用熱交換器　●各種製缶品、金属加工、組立（ダクト・架台・フィルターBOX）
- 熱交換器用材料全般（炭素鋼/ステンレス/非鉄金属/チタン等、特殊金属）
  配管部品/継ぎ手類
- 空調コイル取換え工事一式

産業用熱交換器専業メーカー
勝川熱工株式会社
本　社　〒578-0911 東大阪市中新開2丁目13番46号
TEL072(966)2751(代) FAX072(966)3056
E-mail:info@katsukawa.co.jp
http://www.katsukawa.co.jp
営業部・工場　〒578-0921 大阪府東大阪市水走5丁目2番32号
TEL072(967)2255　FAX072(967)2256
JAB QMS CM 011　JQA QS Japan Boiler Association 登録番号 034

「東京展2014」見どころ

5分野の最新技術を披露

海外展開事例でセミナー

TOP INTERVIEW

粉体技術はあらゆる産業界の素材開発を支え、エネルギーや環境関連など時代が求める最先端の技術開発に多様な形で貢献している。今回の国際粉体工業展東京2014では進化する関連技術に加え、機器・設備の開発動向に注目が集まる。そこで「会員企業が有益な技術を独自開発できるよう共通の基礎固めに尽力する」と語る日本粉体工業技術協会増田弘昭会長に協会活動の現状や今後の取り組みを聞いた。また、谷本友秀東京粉体工業展委員会委員長に同展の見どころを尋ねた。

日本粉体工業技術協会
増田 弘昭 会長

ナノ研究、事業利用へ道

委員会設置し情報を集約

協会活動の現状と取り組み

□■□

―粉体技術が関係する業界の景況感はいかがですか。

「当協会は特定の業界団体でなく会員企業の規模もさまざまなため、一概に景況感の善しあしを判断することは難しい。ただ機器や装置メーカーは総じて好調と聞く。今月、東京で開催される国際粉体工業展の出展状況を見ても前回展（12年）を上まわる盛況ぶり。大手企業を中心とした材料開発や製造業で設備投資が活況のようだ」

―今年度、協会が取り組む重点施策は。

「まずはユーザー視点と実際の設計に役立つ分科会活動の推進。次に粉体に関わる基本技術の伝承と普及を目指した人材育成および教育事業。さらにナノ物質への対応・検討および、11月26日から開催の『国際粉体工業展東京2014』を成功させる4項目を掲げている」

「ユーザー視点に立った分科会活動とは市場ニーズを理解した開発やセールス展開を促すもの。先端的な材料開発や高性能な装置を製品化した場合、その適用や特性などを的確にアピールすることが重要になる。また、協会では産学連携推進部門と人材育成委員会の両面から会員企業の技術や人材の継承、育成を支援している。企業は技術集団であり、研究者との接点を見いだし連携することで多くの相乗効果を生み出すことができる」

―粒子状ナノ物質の技術開発が進んでいます。

「ナノ微粒子の技術進化は早い。すでに電子材料分野では100ナクラスの微粒子が採用されていると聞く。当協会ではナノ粒子の実用化により想定されるリスク研究や対応策の検討を進め書物やセミナーなどで広報。標準化および規格化にも積極的に関わってきた。今後は事業（仕事）として利用される分野へも研究範囲を広げていく。来年（15年）度には協会内19の分科会で取り上げられたナノの情報などを集約する委員会を立ち上げ、実用化に向けた微粒子研究を進展させる計画だ」

―国際粉体工業展東京2014での注目は何でしょう。

「国際展らしく貿易や海外市場をテーマにした催しが目を引く。アジアフォーラムでは多国間貿易時代における自由貿易協定（FTA）や知的財産の現状などを解説。海外情報セミナーではインドネシア進出における課題を探る。メーンの特別展示ゾーンでは新たに食の安全および粉体シミュレーション分野を設置。先端的な技術展開や活動事例を紹介する。また何よりも出展各社が力を入れる基本技術を見てほしい。そこには『こんなことができるのか』といった驚きがあるはずだ」

□■□

―粉体技術の役割および展開されている市場を教えてください。

「粉体技術は最終製品としては見えないが、広範囲に原料・材料などを扱う産業の基盤となっている。そのため『産業の地下水』とも言われる。研究開発では電池、医薬、ナノマテリアルなどの分野が最近の主力と言える」

―「国際粉体工業展東京2014」の開催趣旨は。

「一つは業界各社が新鋭機器を出展し、販売につなげること。もうひとつは粉体技術をさまざまな角度から多くの皆さんに知ってもらうことだ。

―東京展の見どころはどこでしょうか。

「まず『最新情報フォーラム』があげられる。『ナノマテリアル』『食品』『2次電池』『3Dプリンター』『シミュレーション』の5分野の最新技術を見てもらう。初日には特別講演として『エネルギーのベストミックス』をテーマに東大の藤井康正先生に公平な立場からお話しいただく。エネルギーは産業と切っても切り離せない関係。エネルギー需給をどのように考えるのかは産業人として重要な問題だ」

「今回は海外展開にも目を向ける。日本は貿易立国のため海外との接点が必要。東南アジアを中心としたマーケットを考える『アジアフォーラム』と『海外情報セミナー』を開く。自由貿易協定（FTA）や知的財産権の話を聞く機会だ。事例として、インドネシアにスポットを当てる。最終製品の多くが東南アジアで組み立てられるからだ。海外に展開している会社にも、検討している会社にも必要な情報だ」

―産学の連携は。

「展示会は粉体工学会と協調している。前日と初日には、同学会の秋季研究発表会がある。若手研究者の研究成果を発表する場もあり人材の育成に貢献している。学会の先生方には『粉体入門セミナー』で粉体を易しく解説してもらっている」

―展示会にかける意気込みをお願いします。

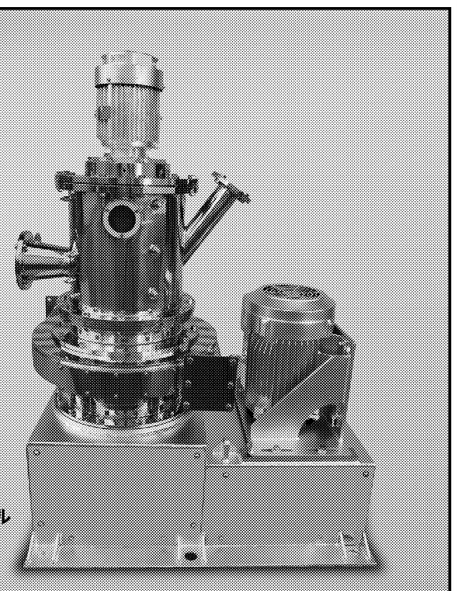
「『この一粒…夢をかたちに―粉の技術―』がキャッチフレーズ。展示会は一つのお祭り。粉体技術を世の中にPRし、粉体技術産業の需要の掘り起こしにつなげたい」

東京粉体工業展委員会
谷本 友秀 委員長

粉体ハンドリングの幅広いニーズに技術と総合力でお応えします

日清エンジニアリング株式会社
〒103-8544 東京都中央区日本橋小網町 14-1
TEL 03-3660-3425　FAX 03-3660-3845
粉体工業展東京 2014 に出展いたします / 出展小間番号 | E-01

KURIMOTO

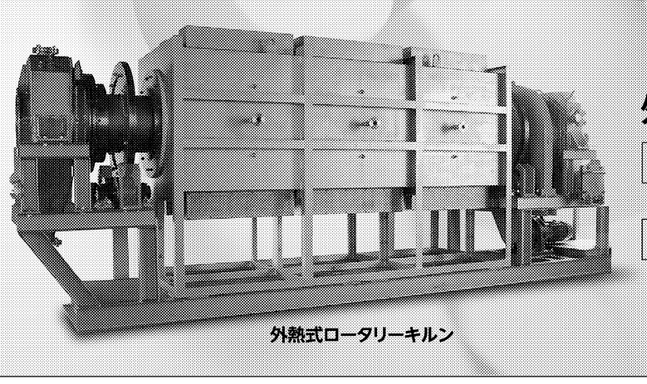


分級機内蔵型 衝撃式粉砕機（K-VIXミル）

用途
- 熱可塑性及び熱硬化性樹脂
- リチウムイオン電池材料(正・負極材)
- 金属、無機鉱物材料

特長
- 粗粒子の飛込みが少ない
- 必要に応じた部品交換が可能
- 耐摩耗及び金属コンタミレス対応が可

K-VIXミル



外熱式ロータリーキルン

外熱式ロータリーキルン

用途
- リチウムイオン電池材料(正・負極材)
- 無機金属、セラミックス材料

特長
- 正六角形レトルトで焼成ムラが少ない
- セラミックレトルト及びセラミック溶射レトルト（各円筒）で金属コンタミレス焼成に対応
- 雰囲気制御下での焼成に対応

粉からはじまるもの創り ～クリモト～
株式会社 栗本鐵工所
関連会社 八洲化工機株式会社（塔槽類等 設計・製作・販売）

本　社　〒550-8580　大阪市西区北堀江1丁目12番19号　TEL 06-6538-7679
東京支社　〒108-0075　東京都港区港南2丁目16番2号 太陽生命品川ビル　TEL 03-3450-8571
ホームページ　http://www.kurimoto.co.jp
住　所　〒532-0035　大阪市淀川区三津屋南3丁目1番22号　TEL 06-6309-6461
ホームページ　http://www.yashima-ce.co.jp